

協議事項

令和 8 年度 栃尾美術館 展覧会事業について

1 提案趣旨

令和 8 年度事業については、今年 8 月中に具体的な事業案を作成し、9 月には予算準備の流れとなることから、今回の協議会で、当館の事業案をもとに、事業に期待することや、アイデアなどを協議していただき、今後の参考としたい。

2 令和 8 年度 展覧会事業（案）

(1) 方針

- ・所蔵作品を公開し、長岡市ゆかりの作家や作品の紹介に努める。
- ・国内外の優れた美術を紹介し、市民の美術活動を推進する。

(2) 展覧会（案）

①春（4～6 月、3 月）館所蔵品展①②

- ・副題やテーマを工夫し、マンネリを避ける。
- ・当館所蔵品の紹介に加え、市の他施設と連携した展示等で新鮮味を加えるなど、新たな客層の獲得を検討する。

②夏（7～9 月）購入企画展

- ・夏休みにあわせ、親子・家族で楽しめる購入企画を検討中。

③秋（10～11 月）（仮題）「茶と美」展

- ・昨年、長岡市茶道文化協会から申し入れがあり継続検討中。
同会の「茶道未来プロジェクト第 1 弾」として行いたいとのこと。
- ・主に県内現代工芸作家による茶道具等を展示し茶道文化を知ってもらう。
- ・会期中、呈茶席やギャラリートーク等のイベントを開催予定。

④冬（12～2 月）第 20 回 ながおかのこども作品展

- ・R7 年度に、これまで別々に行っていた 2 つの展覧会「ながおかのこども作品展」と「ふるさとのこどもたち展」の見直しを行い、一つにまとめた。
- ・やり方は必要に応じて見直していくが、冬季に集客が望める恒例企画として継続。

(3) 普及事業

事業の見直しが求められている中、当館で行う必要性やニーズの高い事業を検討する。

- ・子ども向けは「夏休み☆子ども造形講座」や、冬の「こども作品展」にあわせたワークショップ等は人気があるため、継続する。
- ・一般向けは、展覧会にあわせたギャラリートーク等を中心とし、造形講座は民間や他施設の事業との重複がないよう検討する。